

2001年（平成13年）12月4日

横浜環状鉄道北山田駅地上駅舎の要望書

横浜市交通局長 殿

北山田町内会会長	男全 由治
北山田商業振興会会長	大嶋 珪治
港北N.T.中川地区同志会	
北山田支部執行委員	男全 富雄

港北ニュータウンが事業認可（1974年8月）になってから、約30年の歳月が流れ、この間横浜市には多大なご指導を頂きニュータウン収束を宣言され現在に至っておりますが、北山田は地下鉄の開通なくしてニュータウン収束にはなりません。

私どもニュータウンには大きな夢を期待して、先祖に詫びながら農家の職場の土地4割買収に同意協力してまいりました。結果は地下鉄3号線〔1993年(平成5年)3月開通〕沿線は活性化に弾みがつき、かたや北山田方面は地下鉄4号線、6号線の二つの駅を約束されておりましたが、6号線（東海道線・茅ヶ崎駅から品川駅まで）は地元の承諾もなく撤回されました。4号線も横浜環状鉄道として名称が変わり、ようやく本年（平成13年）1月工事着工になり、経済不況の中、当局のお骨折りで念願の北山田駅（仮称）も工事に着手され安堵しております。

駅予定地の地権者は、高額の固定資産税を払い工事を待ち望んでおりましたが、駅舎が地下と聞き愕然としました。なぜなら地下鉄駅周辺は、総じて栄えておりません。まして、横浜市の努力と地域住民の公聴会の盛り上がりで出来た国際プールの玄関です。贅沢なことは申しません。地上に駅舎をなんとしてもお願い致します。

買収から30年有余年、駅舎を夢見て叶わずに浄土に旅立った方は数知れません。

故郷再生の先輩の思いを私どもは継承し、地上駅舎の実現を伏してお願い致します。厳しい財政下、ご苦勞を感謝いたしますが、地域の思いをお汲み取り頂き、晴れて駅舎で開通の盃を上げられんことを祈ります。